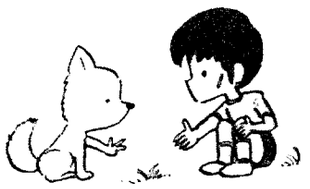
子どもたちを救うのは大人

今の子どもたち

今の子どもたちに欠けていることに、感情の起伏がない、モラルがないといったことが挙げられます。



今の子どもたちは、自分の気分だけで生活をしていることが多いため、自分の気分が心を優先して他が見えません。その時の気分でしか行動できなくなっています。それは子どもたちが悪いというよりも、大人が「悪いことは悪い」と教えなくなったのがいけないのではないでしょうか。「子どもに嫌われるからいえない」という大人の声を聞くこともあります。

最近の傾向として、テレビやゲームに素直さや真面目さをちゃかす傾向があります。ある小学生が「うけねらいの生活に疲れちゃった」というのです。いつでもうけをねらっていないと、そこに居場所がなくなるというのです。そんな子どもたちの中に正しいことや真面目さを教えてあげる大人が必要です。正しいこと、真面目なことを当たり前で片づけないで誉めて行かなくては、正しいことが子どもたちの中に通らなくなってしまいます。

親として

「親子で一番大切なものは?」と聞かれたら、誰もが「愛情」と答えるでしょう。愛情のない家庭は崩壊します。しかし、愛情があっても、その愛情が子どもの側に立っての愛情ならば子どもの心は晴れやかでしょう。もし、それが親の自己満足的な愛情だったら子どもの心は疲れ切っているかも知れません。「ストレスが溜まって、心が壊れることがある。親が満足してくれない」という子どもの声を聞きます。

では、親の愛情が子どもの主体的に意欲的に生きる力につながるにはどうしたらいいでしょうか。それは、子どもの要求に先回りして答えたり、親の要求を押しつけたりするのではなく、子どもの気持ちに立って一緒に考えてあげることです。日ごろ、親として子どもの表面だけを見て安心しているのではなく、子どもの心の中の本当の姿を見てあげることです。つまり、心の声を聞くということです。

最近「今の子どもたちの心は疲れ切っている」という話をよく耳にします。子どもの心が疲れ切っているときには、必ずといっていいほど何らかのサインが出ています。そのサインに気づくことも優しさであり、本当の愛情だと思います。一般に、「親が変われば子も変わる」「子は親の鏡」などといわれます。子どもの内面を知り、親自身が変わることが疲れた子どもたちを救うことにつながると思います。

これからの教育は

これからの教育は、子どもたちと一緒に感動を共有していくことだと思います。感動の共有は、心のつながりなくしてはありえません。「今の子どもは何を考えているか分からない」と逃げていては駄目です。我々大人から子どもたちと心のつながりを持つことが大事です。どうしたら心のつながりを持てるでしょうか?

我々大人が出来ることとして子どもたちとの会話があります。会話がつながりの第一歩です。会話は、時には子どもたちの頭の整理、心の整理にもつながります。子どもから話してくるのを待つのではなく、大人から子どもたちに会話をする機会を多くつくることがこれからの教育に必要です。

そして、大人ができる教育の原点は、「子どもを本気で怒れる」ことだと思います。気持ちを聞くと要求を聞き入れるは、全く別のことです。大人が変に物わかりのいい振りをしている今日、ズボンを下げて歩いている子どもにどう接したらいいのか、何もしないでいることが人間関係を壊さない秘訣だと考えているのでは・・・。

伝言板

大月保健所

大月市大月町花咲1608-3
☎(22)7824

寝たきりにならないためにさせないために!

『寝たきりゼロへの十か条』

一 脳卒中と骨折予防
　寝たきりゼロへの第一歩
二 寝たきりは
　寝かせきりから作られる
　過度の安静逆効果
三 リハビリは
　早期開始が効果的
　始めよう
　ベットの上から訓練を
四 暮らしの中でのリハビリは
　食事と排泄、着替えから
五 朝起きて
　まずは着替えて身だしなみ
　寝・食分けて
　生活にメリとハリ
六 「手は出しすぎず
　目は離さず」が介護の基本
　自立の気持ちを大切に
七 ベットから
　移ろう移そう車椅子
　行動広げる機器の活用
八 手すりつけ
　段差をなくし住みやすく
　アイデア生かした
　住まいの改善
九 家庭でも社会でも喜びみつけ
　みんなで防ごう閉じこもり
十 進んで利用
　機能訓練　デイ・サービス
　寝たきりなくす人の和
　地域の輪

アトピー性皮膚炎のはなし

アトピー性皮膚炎は、アトピー体質をもっている人に多く、様々な刺激によって皮膚にかゆみがでる慢性の湿疹です。

子どもが、かゆがったり、赤いポツポツがなかなか治らないときは、まず、専門の医師に診てもらいましょう。

そして、定期的に受診し、根気よく治療をしましょう。

毎日の生活で注意することは

・皮膚をきれいに洗い、洗った後は保湿につとめましょう。
・衣類・寝具は清潔にし、皮膚に刺激を与えないようにしましょう。
・部屋にホコリをためないようにしましょう。
・バランスのとれた食事（離乳食）をこころがけましょう。
・おおらかな気持ちで子どもに接しましょう。

保健所では毎月第四水曜日の午後二時よりアトピー性皮膚炎相談（予約）を行っています。気軽にご相談ください。

1月28日～2月3日は リハビリテーション週間です